

令和3年度決算報告

決算概要

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症に対応して緊急事態宣言及びまんえん防止等重点措置が繰り返され、感染防止の観点から登山活動や大規模集会の自粛等、本会の事業活動は引続いて非常に厳しい制約を課された。従来から継続して会員増強策を推進したが、当年度も入会者はあるが退会者も多く、会員数減少に歯止めはかからなかった。事業活動が思うように進められない環境の中、事業費は前年度を更に下回る結果であったが、平成28年度以来の赤字決算となった。

I 一般正味財産増減の部については、経常収益合計が65,561千円で、対前年度比19,213千円、22.7%減少した。経常費用合計は70,841千円となり、対前年度比6,188千円、8.0%減少した。この結果、当期経常増減額（経常利益）及び最終損益である当期一般正味財産増減額（当期利益）は5,279千円の損失計上となり、前年度より13,024千円の悪化となった（令和2年度は7,744千円の正味財産増加（黒字額））。

II 指定正味財産増減の部には、公益法人会計基準注解 注6の規定により、寄附者により用途が指定されている寄附金（山岳古道調査募金等）を2,500千円計上している。また、令和3年度に発生した120周年記念事業関連費用等に充てるため一般正味財産へ1,495千円と、基金として保有する預金利息1千円を振替額（減額）として計上し、当期指定正味財産増減額は1,004千円の増加となった。結果として、これら2部を合わせた正味財産増減額は4,275千円の赤字となった。

収益の5年間の推移

（単位：千円）

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
会費・入会金	49,639	50,294	52,636	53,848	55,625
事業収益	2,960	2,934	16,448	14,600	18,018
寄附金等	9,790	20,103	10,297	13,325	19,291
120周年記念事業関連収入	-	4,000	-	-	-
その他収入	5,671	8,155	9,519	6,064	6,458
	68,060	85,486	88,900	87,837	99,392

※寄附金等には受取寄附金振替額を除きII指定正味財産増減の部の寄附金収入を含めている。

収益の推移

本会の令和3年度の経常収益合計額は65,561千円となり、対前年度比19,213千円、22.7%の大幅減少となった。

会費・入会金について、会員数の動向はここ数年一貫して減少傾向を示しており、令和3年度においても引続きコロナ禍の影響が減少傾向にさらに拍車をかけている。支部での登山講習会等の中止が相次ぎ新たな入会の機会が大幅に減っている。正会員については、退会者が入会者を大きく上回る傾向は継続しており、当年度における正会員数の純減（増加数と減少数を差引）は100名であった。準会員については毎年100名近くが安定的に入会していたが、昨年度・当年度は減少している。以上により、受取会費は46,759千円となり、対前年度比965千円、2.0%の減少、会費と入会金の合計額についても49,639千円で対前年度比655千円、1.3%の減少となった。

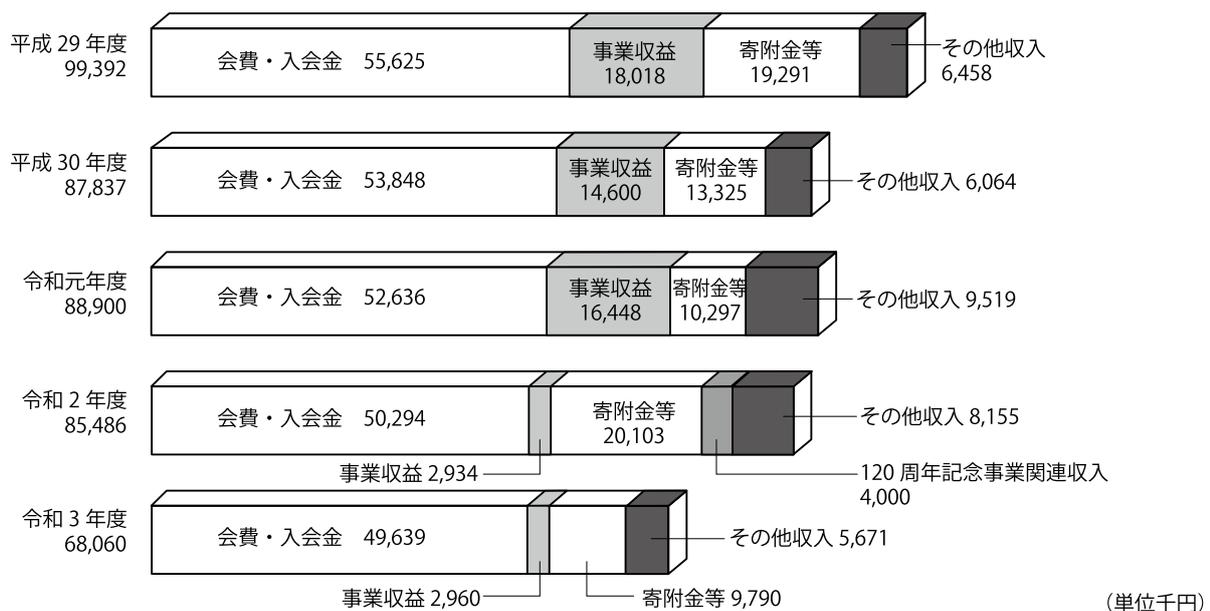
事業収益は、合計で2,960千円となり、対前年度比25千円、0.8%増とほとんど同額であった。

前期、当期とも年次晩餐会の中止、支部での登山講習会等の中止と同様の状況であり、新型コロナウイルス感染防止のため山研利用者も同じような水準に留まったこと（令和2年度 267名、令和3年度 291名）による。

寄附金等については、補助金等が880千円で、対前年度比131千円増加した。寄附金は指定正味財産増減の部に計上されているものを合わせても8,910千円で、対前年度比12,154千円、57.7%の大幅な減少となった。柱であった会員寄附金が減少し、昨年度は多額であった個人からの寄附も低調であった。法人からの寄付が若干増えたものの、結果として当年度は9,790千円、対前年度比10,313千円、51.3%の減少となった。

その他収入の内訳は、支部開催行事参加費や保険取扱手数料収入等雑多なものが含まれるが、当年度は合計額で5,668千円となり、対前年度比5,480千円、49.2%の大幅減となった。この要因は120周年事業として実施したグレート・ヒマラヤ・トラバースの参加者負担金3,000千円がないこと、新型コロナウイルス感染症予防対策に係る雇用調整助成金収入が1,177千円減の1,143千円、日本山岳会会員名簿販売収入が855千円減の241千円になったことによるものである。支部行事負担金は、今期も同様に全国で行事中止が相次ぎ当年度は128千円減少の3,723千円であった。

収入の5年間推移



事業費と管理費の推移

事業費と管理費については、総額で70,841千円となり、対前年度比6,188千円、8.0%の減少となっている。冒頭に説明のとおり令和3年度もコロナ禍により支部・委員会とも事業実施に制約を受け、公益事業については事業の中止・縮小が発生している。120周年記念事業についても海外往來を含む事業については再度の延期を余儀なくされている。

事業費について、費目別には昨年度大きく減少した会議費及び旅費交通費は本年も少ないままであった。これは月例会や催行等の中止が続いていることがその主因である。

事業費は「公益法人会計基準運用指針」に例示された科目により表示しているが、事業ごとの成果を明らかにするため、ここでは本会で管理のために利用している事業区分に従って説明する。

	(単位千円)	
	令和3年度	令和2年度
出版事業費	13,051	13,761
図書管理事業費	5,667	5,664
支部事業費	15,092	14,378
高尾の森づくり事業費	2,003	2,004
YOUTH CLUB事業費	1,058	1,023
山岳研究所等事業費	7,205	6,727
120周年記念事業	1,118	6,091
その他事業費	3,739	4,042
事業管理費	17,831	19,117
管理費	4,072	4,219
合計	70,841	77,030

出版事業費は、13,051千円となり、対前年度比710千円、5.2%の減少となった。印刷コスト(印刷製本費)の上昇は高止まり感はあるが当期は一服している。

図書管理事業費は、図書委員会の活動費と本会の有する山岳図書館の管理費用からなっており、経費節減に努め、当年度は5,667千円となり前年度比3千円と横ばいであった。

支部事業費は、各支部に交付した運営交付金及び支部事業助成金5,880千円と新入会員獲得奨励金584千円、特別事業補助金等980千円を原資の一部とする支部の活動費用である。当年度は、15,092千円となり、対前年度比714千円、5.0%の増加となった。コロナ禍により中止・縮小を継続していた支部事業が一部の地域で再開できたことによるものである。

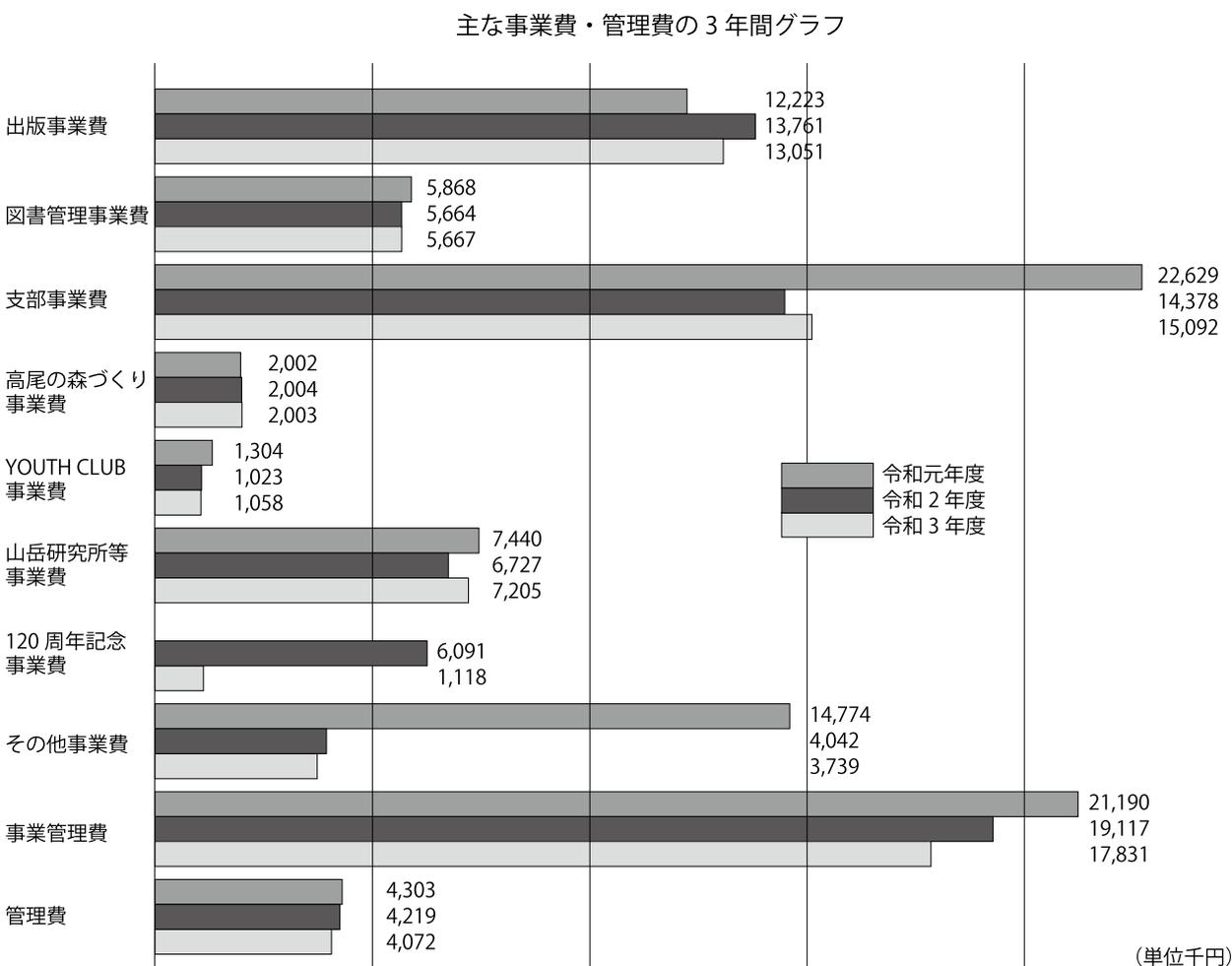
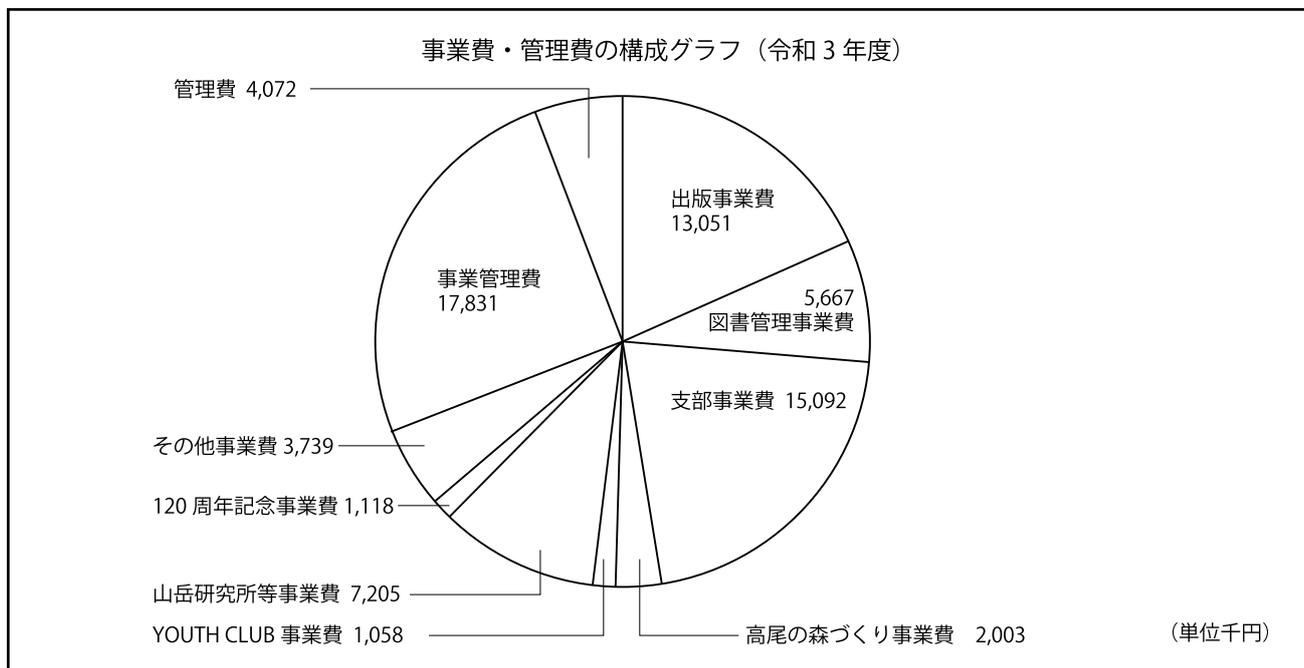
山岳研究所等事業費(ミニ水力発電事業費含む)は、当年度は7,205千円、前年度比478千円、7.1%の増加となった。上高地山岳研究所は新型コロナウイルス感染症予防の観点から密を避けるべく利用者の制限を行ったが、建物設備の減価償却費、修繕費等の発生は通年と同様であり、運営コストは変動費部分の減少のみであった。

一昨年度から120周年記念事業がスタートしているが、当年度においてはグレート・ヒマラヤ・トラバース、ヒマラヤキャンプといった海外関係の行事が延期を余儀なくされ、実施できたのはエベレスト登頂50周年記念フォーラムに留まった。この事業費用が**120周年記念事業費**として1,118千円計上されている。

その他の事業費については、**高尾の森づくり事業費**が2,003千円、**YOUTH CLUB事業費**が1,058千円と対前年度比横ばいとなった。**その他事業費**は本年度も年次晩餐会の中止により開催費用が発生せず、一方で資料・映像委員会やデジタルメディア委員会等の行う調査研究事業の支出は423千円増加している。その他事業費全体では3,739千円となり、対前年度比303千円、7.5%の減少となった。

事業管理費及び管理費(間接費)は、本部事務所の維持費用及び人件費、通信費、支払手数料

等である。これらについては全般的な経費節減に努め合計で 21,903 千円、対前年度 1,433 千円、6.1%の減少となった。緊急事態宣言時の本部ルームの閉鎖やその後の利用制限継続による変動費の減少がその要因である。



貸借対照表の説明

令和4年3月末現在の貸借対照表において、**現金及び預金**は44,443千円となり、対前年度比で11,319千円、20.3%の減少、**流動資産合計**では51,814千円となり、10,164千円、16.4%減少している。これは運転資金としての振替貯金が9,315千円減少したこと等によるものである。

固定資産について、**基本財産**は8,000千円で変動はない。

特定資産である**秩父宮記念基金**（15,200千円）は、本会の秩父宮記念山岳賞の顕彰賞金を支給するための基金である。**海外登山基金**（14,289千円）は、今後の海外登山等の助成金及び120周年記念事業の海外登山の助成金を対象として留保された資金である。**遭難防止事業基金**（10,000千円）を含めて当年度の変動はない。**長期計画準備金**（36,512千円）は、上高地山岳研究所の修繕費用又は再建費用として留保している資金である。昨今の建築資材等の値上がりを考慮して積増しを行っている。**退職給付引当資産**は職員への退職金支給に備えるための預金で、当年度は要支給額の増加に伴い380千円を繰り入れている。また、**高頭仁兵衛翁寿像碑修復特定資産**は本年度その目的を達して取崩した。指定寄付金を受け120周年記念事業特定資産として3,090千円を組み入れた。その他指定寄付を受けた4件の組み入れ、実施した事業に対応して3件の特定資産の一部または全部の取り崩しを行っている。以上の結果、**特定資産合計**は、90,844千円となり、対前年度比10,826千円、13.5%増加した。

その他固定資産は什器備品が135千円増加したのみで、減少は減価償却費の4,293千円である。

この結果、**固定資産合計**は234,077千円となり、特定資産の増加を反映し対前年度比で6,668千円、2.9%増加したが、**資産合計**は285,892千円となり、対前年度比3,495千円、1.2%の減少となった。

負債については、会報印刷、発送費等の**未払金**が1,045千円、対前年度比20千円、2.0%の増加、**前受金**は会費前受分で180千円、対前年度比32千円、15.1%の減少、源泉所得税や次年度支出等の**預り金**が対前年度比で411千円、22.6%増加し2,228千円となった。これに職員の**退職給付引当金**7,749千円（対前年度比380千円増加）を加えた**負債合計**は11,203千円、対前年度比779千円、7.5%の増加となった。

以上の結果、当年度末の**正味財産合計額**は、274,689千円となり、対前年度比で4,275千円、1.5%の減少となった。

（注1：表示方法について）

決算概要において、数値の記載は表示単位未満を切り捨て、比率の記載は表示単位未満を四捨五入して表示している。

貸借対照表(案)

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	44,443,109	55,762,408	△ 11,319,299
未収会費	2,976,000	2,640,000	336,000
貯蔵品	539,990	679,347	△ 139,357
前払金	141,898	0	141,898
仮払金	3,713,902	2,897,574	816,328
流動資産合計	51,814,899	61,979,329	△ 10,164,430
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	8,000,000	8,000,000	0
基本財産合計	8,000,000	8,000,000	0
(2) 特定資産			
秩父宮記念基金	15,200,000	15,200,000	0
海外登山基金	14,289,792	14,289,792	0
遭難防止事業基	10,000,000	10,000,000	0
長期計画準備金	36,512,491	29,160,206	7,352,285
退職給付引当資産	7,749,743	7,369,698	380,045
120周年記念事業特定資産	3,090,000	0	3,090,000
生物保護特定資産	300,000	0	300,000
森林保全特定資産	300,000	0	300,000
古道調査特定資産	300,000	0	300,000
図書管理特定資産	0	132,000	△ 132,000
施設整備特定資	1,784,452	1,784,452	0
YOUTH CLUB活動特定資産	500,000	400,000	100,000
くじゅう山遭難碑維持管理特定資産	317,937	328,484	△ 10,547
坂口三郎基金	500,000	0	500,000
高頭仁兵衛翁寿像碑修復特定資産	0	1,353,000	△ 1,353,000
特定資産合計	90,844,415	80,017,632	10,826,783
(3) その他固定資産			
土地	90,546,120	90,546,120	0
建物	36,442,296	38,946,493	△ 2,504,197
建物附属設備	6,176,255	7,523,793	△ 1,347,538
什器備品	1,111,278	1,272,115	△ 160,837
機械装置	152,669	190,837	△ 38,168
水道施設利用権	804,934	912,134	△ 107,200
その他固定資産合計	135,233,552	139,391,492	△ 4,157,940
固定資産合計	234,077,967	227,409,124	6,668,843
資産合計	285,892,866	289,388,453	△ 3,495,587
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,045,625	1,024,987	20,638
前受金	180,000	212,000	△ 32,000
預り金	2,228,048	1,816,888	411,160
流動負債合計	3,453,673	3,053,875	399,798
2. 固定負債			
退職給与引当金	7,749,743	7,369,698	380,045
固定負債合計	7,749,743	7,369,698	380,045
負債合計	11,203,416	10,423,573	779,843
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	39,972,382	38,967,932	1,004,450
指定正味財産合計	39,972,382	38,967,932	1,004,450
（うち基本財産への充当額）	8,000,000	8,000,000	0
（うち特定資産への充当額）	33,962,385	30,897,936	3,064,449
2. 一般正味財産	234,717,068	239,996,948	△ 5,279,880
（うち特定資産への充当額）	49,132,287	41,749,998	7,382,289
正味財産合計	274,689,450	278,964,880	△ 4,275,430
負債及び正味財産合計	285,892,866	289,388,453	△ 3,495,587

正味財産増減計算書(案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	429	637	△ 208
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,667	2,860	△ 1,193
特定資産受取利息振替額	506	1,918	△ 1,412
受取入会金			
受取入会金	2,575,000	2,300,000	275,000
準会員入会金	305,000	270,000	35,000
受取会費			
通常会費	45,451,300	46,170,700	△ 719,400
終身会費	44,000	93,600	△ 49,600
準会員会費	1,264,500	1,460,500	△ 196,000
事業収益			
広告料収益	781,260	600,000	181,260
印税収益	103,490	337,472	△ 233,982
刊行物売上収益	87,375	62,140	25,235
山研使用料収益	891,101	900,810	△ 9,709
登山講習会収益	515,000	407,500	107,500
その他事業収益	582,000	627,000	△ 45,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金等	840,136	748,410	91,726
受取民間助成金	40,000	0	40,000
受取寄附金			
受取寄附金	53,897	10,290,000	△ 10,236,103
募金収益	0	651,000	△ 651,000
会員寄附金	1,160,694	4,488,164	△ 3,327,470
受取法人寄附金	3,700,000	2,503,102	1,196,898
受取寄附金振替額	1,495,550	1,709,550	△ 214,000
雑収益			
受取利息	424	1,303	△ 879
支部行事負担金	3,723,457	3,851,908	△ 128,451
120周年事業個人負担金	0	3,000,000	△ 3,000,000
雇用調整助成金収入	1,143,674	2,321,006	△ 1,177,332
会員名簿販売収入	241,000	1,096,000	△ 855,000
雑収益	560,220	879,397	△ 319,177
経常収益計	65,561,680	84,774,977	△ 19,213,297
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	10,777,646	10,979,603	△ 201,957
通勤手当	112,168	101,168	11,000
臨時雇賃金	111,090	87,000	24,090
退職給付費用	344,321	343,415	906
福利厚生費	2,102,430	2,084,982	17,448
旅費交通費	2,088,445	2,797,595	△ 709,150
通信運搬費	7,951,022	8,070,669	△ 119,647
会議費	2,419,006	2,213,418	205,588
什器備品費	1,020,462	1,303,816	△ 283,354
消耗品費	2,169,616	4,894,334	△ 2,724,718
修繕費	0	169,400	△ 169,400
印刷製本費	10,969,570	13,145,882	△ 2,176,312
燃料費	45,321	29,221	16,100
光熱水料費	1,113,601	947,493	166,108
電話料	282,559	292,121	△ 9,562
賃借料	81,192	80,680	512
保険料	531,580	899,779	△ 368,199
租税公課	841,271	844,655	△ 3,384
諸謝金	2,294,018	823,472	1,470,546
負担金	311,880	223,430	88,450
支払手数料	7,594,146	10,076,895	△ 2,482,749
販売品購入費	487,018	617,899	△ 130,881

(次頁に続く)

(前頁より)			(単位:円)
科 目	当年度	前年度	増 減
建物減価償却費	2,443,239	2,443,239	0
建物附属設備減価償却費	1,344,689	1,405,273	△ 60,584
什器備品減価償却費	287,196	257,275	29,921
機械装置減価償却費	38,168	119,283	△ 81,115
水道施設利用権減価償却費	107,200	107,200	0
支部助成費	0	0	0
海外登山費用	0	0	0
海外登山助成金	300,000	0	300,000
事務所管理費	1,957,118	1,968,906	△ 11,788
その他管理費	380,415	480,767	△ 100,352
雑費	6,262,850	5,002,208	1,260,642
事業費計	66,769,237	72,811,078	△ 6,041,841
(2) 経常費用			
管理費			
給料手当	3,061,107	3,149,813	△ 88,706
通勤手当	55,472	55,472	0
退職給付費用	35,724	35,630	94
福利厚生費	190,584	188,756	1,828
旅費交通費	1,080	16,675	△ 15,595
通信運搬費	94,268	86,514	7,754
会議費	11,366	19,727	△ 8,361
什器備品費	5,529	10,440	△ 4,911
消耗品費	20,589	31,583	△ 10,994
印刷製本費	43,857	42,481	1,376
光熱水料費	27,709	25,171	2,538
電話料	18,035	18,645	△ 610
保険料	10,670	9,212	1,458
租税公課	38,679	38,895	△ 216
負担金	4,800	3,000	1,800
支払手数料	189,138	219,192	△ 30,054
建物減価償却費	60,958	60,958	0
建物附属設備減価償却費	2,849	2,849	0
什器備品減価償却費	8,721	8,721	0
事務所管理費	124,922	125,674	△ 752
その他管理費	24,281	30,687	△ 6,406
雑費	41,985	39,333	2,652
管理費計	4,072,323	4,219,428	△ 147,105
経常費用計	70,841,560	77,030,506	△ 6,188,946
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,279,880	7,744,471	△ 13,024,351
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,279,880	7,744,471	△ 13,024,351
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,279,880	7,744,471	△ 13,024,351
一般正味財産期首残高	239,996,948	232,252,477	7,744,471
一般正味財産期末残高	234,717,068	239,996,948	△ 5,279,880
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	1,000,000	160,000	840,000
会員寄附金	600,000	1,263,000	△ 663,000
受取法人寄付金	900,000	0	900,000
基本財産受取利息	429	637	△ 208
特定資産受取利息	506	1,918	△ 1,412
一般正味財産への振替額	△ 1,496,485	△ 1,712,105	215,620
当期指定正味財産増減額	1,004,450	△ 286,550	1,291,000
指定正味財産期首残高	38,967,932	39,254,482	△ 286,550
指定正味財産期末残高	39,972,382	38,967,932	1,004,450
III 正味財産期末残高	274,689,450	278,964,880	△ 4,275,430

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			小計	収益事業等会計			法人会計	合計
	登山振興事業	山岳研究調査事業	山岳環境保全事業		共通				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息振替額	0	0	0	0	0	0	0	429	429
特定資産運用益									
特定資産受取利息	0	0	0	2,026	0	0	0	147	2,173
特定資産受取利息振替額	0	0	0	1,520	0	0	0	147	1,667
受取入会金									
受取入会金	0	0	0	1,592,500	0	0	515,000	772,500	2,880,000
準会員入会金	0	0	0	1,287,500	0	0	515,000	772,500	2,575,000
受取会費									
通常会費	0	0	0	24,014,650	0	0	9,098,060	13,647,090	46,759,800
終身会費	0	0	0	22,728,150	0	0	9,089,260	13,633,890	45,451,300
準会員会費	0	0	0	22,000	0	0	8,800	13,200	44,000
事業収益									
広告料収益	206,405	891,101	0	1,264,500	0	0	1,316,230	0	1,264,500
山岳広告料	52,030	0	0	546,490	0	0	729,230	0	2,960,226
会報広告料	52,030	0	0	0	0	0	0	0	781,260
印税収益	0	0	0	103,490	0	0	729,230	0	52,030
刊行物売上	78,375	0	0	4,000	0	0	5,000	0	729,230
会報売上	31,375	0	0	0	0	0	0	0	0
その他売上	47,000	0	0	4,000	0	0	5,000	0	103,490
山研使用料収益	0	891,101	0	891,101	0	0	0	0	87,375
登山講習会収益	76,000	0	0	439,000	0	0	515,000	0	31,375
その他事業収益	0	0	0	0	0	0	582,000	0	5,000
物品販売収益	0	0	0	0	0	0	582,000	0	51,000
晚餐会収益	0	0	0	0	0	0	0	0	891,101
受取補助金等									
受取地方公共団体補助金等	0	0	0	880,136	0	0	0	0	515,000
受取民間助成金	0	0	0	840,136	0	0	0	0	880,136
受取寄附金									
受取寄附金	100,000	140,000	2,153,114	3,400,550	0	0	401,477	215,000	6,410,141
募金収益	0	0	0	0	0	0	53,897	0	53,897
会員寄附金	100,000	140,000	153,114	205,000	0	0	347,580	215,000	1,160,694
受取法人寄附金	0	0	2,000,000	1,700,000	0	0	0	0	3,700,000
受取寄附金振替額	0	0	0	1,495,550	0	0	1,495,550	0	1,495,550
雑収益									
受取利息	0	0	0	1,408,183	0	0	2,577,874	1,682,718	5,668,775
支部行事負担金	0	0	0	1,398,183	0	0	2,325,274	424	424
その他雑収益	0	0	0	10,000	0	0	252,600	1,682,294	3,723,457
名簿販売収益	0	0	0	0	0	0	241,000	0	1,944,894
雇用調整助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	241,000
その他雑収益	0	0	0	10,000	0	0	11,600	538,620	1,143,674
経常収益計	306,405	1,031,101	2,153,114	31,844,535	0	0	13,908,641	16,317,884	65,561,680

科 目	公益目的事業会計				小 計	収益事業等会計	法人会計	合 計
	登山振興事業	山岳研究調査事業	山岳環境保全事業	共通				
(2) 経常費用								
事業費	19,609,621	18,759,044	9,688,918	781,159	48,838,742	17,930,495	0	66,769,237
給料手当	2,184,381	6,408,884	2,184,381	0	10,777,646	0	0	10,777,646
通勤手当	39,584	33,000	39,584	0	112,168	0	0	112,168
臨時雇賃金	0	0	111,090	0	111,090	0	0	111,090
退職給付費用	65,367	213,587	65,367	0	344,321	0	0	344,321
福利厚生費	348,729	1,404,972	348,729	0	2,102,430	0	0	2,102,430
旅費交通費	1,269,298	337,940	340,577	13,020	1,960,835	127,610	0	2,088,445
通信運搬費	1,952,427	585,555	592,642	64,012	3,194,636	4,756,386	0	7,951,022
会議費	775,542	102,527	387,346	114,164	1,379,579	1,039,427	0	2,419,006
什器備品費	65,259	183,490	512,735	0	761,484	258,978	0	1,020,462
消耗品費	548,773	296,687	944,736	0	1,790,196	379,420	0	2,169,616
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	3,976,698	226,603	754,525	0	4,957,826	6,011,744	0	10,969,570
燃料費	0	45,321	0	0	45,321	0	0	45,321
光熱水料費	96,984	822,649	96,984	0	1,016,617	96,984	0	1,113,601
電話料	63,124	93,187	63,124	0	219,435	63,124	0	282,559
賃借料	0	81,192	0	0	81,192	0	0	81,192
保険料	37,346	419,542	37,346	0	494,234	37,346	0	531,580
租税公課	135,376	435,143	135,376	0	705,895	135,376	0	841,271
諸謝金	1,538,130	11,137	434,740	210,000	2,194,007	100,011	0	2,294,018
慶弔費	55,000	0	0	0	55,000	0	0	55,000
負担金	106,800	171,480	16,800	0	295,080	16,800	0	311,880
支払手数料	2,121,515	1,662,332	1,305,580	15,563	5,104,990	2,489,156	0	7,594,146
販売品購入費	0	0	0	0	0	487,018	0	487,018
建物減価償却費	421,021	1,595,512	213,353	0	2,229,886	213,353	0	2,443,239
建物附属設備減価償却費	9,972	967,445	9,972	0	987,389	9,972	0	997,361
水道施設減価償却費	0	347,328	0	0	347,328	0	0	347,328
什器備品減価償却費	30,525	195,621	30,525	0	256,671	30,525	0	287,196
機械装置減価償却費	0	38,168	0	0	38,168	0	0	38,168
水道施設利用権減価償却費	0	107,200	0	0	107,200	0	0	107,200
海外登山助成金	300,000	0	0	0	300,000	0	0	300,000
事務所管理費	437,228	645,434	437,228	0	1,519,890	437,228	0	1,957,118
その他管理費	84,986	125,457	84,986	0	295,429	84,986	0	380,415
雑費	2,945,556	1,201,651	541,192	364,400	5,052,799	1,155,051	0	6,207,850
管理費	0	0	0	0	0	0	4,072,323	4,072,323
経常費用計	19,609,621	18,759,044	9,688,918	781,159	48,838,742	17,930,495	4,072,323	70,841,560
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 19,303,216	△ 17,727,943	△ 7,535,804	31,063,376	△ 13,503,587	△ 4,021,854	12,245,561	△ 5,279,880
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 19,303,216	△ 17,727,943	△ 7,535,804	31,063,376	△ 13,503,587	△ 4,021,854	12,245,561	△ 5,279,880
当期一般正味財産増減額	△ 19,303,216	△ 17,727,943	△ 7,535,804	31,063,376	△ 13,503,587	△ 4,021,854	12,245,561	△ 5,279,880
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	239,996,948	239,996,948
一般正味財産期末残高	△ 19,303,216	△ 17,727,943	△ 7,535,804	31,063,376	△ 13,503,587	△ 4,021,854	252,242,509	234,717,068
II 指定正味財産増減の部								
受取寄附金	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	1,000,000
会員寄附金	0	0	0	600,000	600,000	0	0	600,000
受取法人寄附金	0	0	0	900,000	900,000	0	0	900,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	429	429
特定資産受取利息	0	0	0	506	506	0	0	506
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 1,496,056	△ 1,496,056	0	△ 429	△ 1,496,485
当期指定正味財産増減額	0	0	0	1,004,450	1,004,450	0	0	1,004,450
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	38,967,932	38,967,932
指定正味財産期末残高	0	0	0	1,004,450	1,004,450	0	38,967,932	39,972,382
III 正味財産期末残高								274,689,450

財務諸表に対する注記(案)

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品は個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・有形固定資産の建物、建物附属設備、什器備品及び機械装置は定額法によっている。
 - ・無形固定資産は定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金は職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。
なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- (4) リース取引の処理方法
 - ・ファイナンス・リース取引
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	8,000,000	0	0	8,000,000
小 計	8,000,000	0	0	8,000,000
特定資産				
秩父宮記念基金	15,200,000	0	0	15,200,000
海外登山基金(注1)	14,289,792	0	0	14,289,792
遭難防止事業基金	10,000,000	0	0	10,000,000
長期計画準備金(注2)	29,160,206	7,352,285	0	36,512,491
退職給付引当資産	7,369,698	380,045	0	7,749,743
図書管理特定資産(注3)	132,000	0	132,000	0
施設整備特定資産(注4)	1,784,452	0	0	1,784,452
YOUTH CLUB活動特定資産(注5)	400,000	100,000	0	500,000
くじゅう山遭難碑維持管理特定資産(注6)	328,484	0	10,547	317,937
高頭仁兵衛翁寿像碑修復特定資産(注7)	1,353,000	0	1,353,000	0
120周年記念事業特定資産(注8)	0	3,090,000	0	3,090,000
生物保護特定資産(注9)	0	300,000	0	300,000
森林保全特定資産(注10)	0	300,000	0	300,000
山岳古道調査特定資産(注11)	0	300,000	0	300,000
坂口三郎基金(注12)	0	500,000	0	500,000
小 計	80,017,632	12,322,330	1,495,547	90,844,415
合 計	88,017,632	12,322,330	1,495,547	98,844,415

(注1) 海外登山基金は、本会又は外部団体の海外登山等の助成金及び120周年記念事業を対象とする助成金支出に充てるために保有するものである。

(注2) 長期計画準備金については、上高地山岳研究所建物など本会資産の再取得または修繕に備えるために保有するものである。

(注3) 図書管理特定資産は、本部図書室の設備、備品などの更新または修繕に備えるために保有するものである。当年度は図書管理ソフトウェアに係る保守料相当額を取り崩している。

(注4) 施設整備特定資産は、本部事務所の設備、備品などの更新または修繕に備えるために保有するものである。

(注5) YOUTH CLUB活動特定資産は、本部 YOUTH CLUBにおける活動を助成するために保有するものである。

(注6) くじゅう山遭難碑維持管理特定資産は、東九州支部におけるくじゅう山遭難碑の維持管理活動を助成するために保有するものである。当年度は利息を計上し、発生した維持管理費用相当を取り崩している。

(注7) 高頭仁兵衛翁寿像碑修復特定資産は、越後支部における高頭仁兵衛翁寿像碑の修復事業を助成するために保有するものである。当年度は修復工事終了のため全額を取り崩している。

(注8) 本会創設120周年(2025年)に向けて開催される記念事業に関わる諸費用に充てるため保有するものである。

(注9) 山岳環境保全事業の中で特に森林生物保護を目的に受入れ管理するものである。

(注10) 山岳環境保全事業の中で特に森林環境保護を目的に受入れ管理するものである。

(注11) 120周年事業の一つである山岳古道調査に特化して受入管理するものである。

(注12) 本会栃木支部の会員活動を活発化する目的で創設された基金である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	8,000,000	(8,000,000)	—	—
小 計	8,000,000	(8,000,000)	—	—
特定資産				
秩父宮記念基金	15,200,000	(15,200,000)	—	—
海外登山基金	14,289,792	(2,000,000)	(12,289,792)	—
遭難防止事業基金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
長期計画準備金	36,512,491	—	(36,512,491)	—
退職給付引当資産	7,749,743	—	—	(7,749,743)
施設整備特定資産	1,784,452	(1,784,452)	—	—
YOUTH CLUB活動特定資産	500,000	(200,000)	(300,000)	—
くじゅう山遭難碑維持管理特定資産	317,937	(317,930)	(7)	—
120周年記念事業特定資産	3,090,000	(1,090,000)	(2,000,000)	—
生物保護特定資産	300,000	(300,000)	—	—
森林保全特定資産	300,000	(300,000)	—	—
古道調査特定資産	300,000	(300,000)	—	—
坂口三郎基金	500,000	(500,000)	—	—
小 計	90,844,415	(31,992,382)	(51,102,290)	(7,749,743)
合 計	98,844,415	(39,992,382)	(51,102,290)	(7,749,743)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物			
事務所	50,662,465	37,973,937	12,688,528
上高地山岳研究所建物	118,000,000	96,115,247	21,884,753
広島支部ルーム	3,945,694	2,076,680	1,869,014
静岡支部文珠山荘	1	0	1
建物附属設備			
広島支部ルーム	1,211,700	1,211,699	1
自動火災報知器(山研)	993,600	662,400	331,200
給排水設備(山研)	5,184,000	2,257,632	2,926,368
テラス(山研)	1,188,000	871,200	316,800
受水槽(山研)	1,566,000	358,483	1,207,517
屋根・外壁塗装(山研)	3,024,000	2,116,800	907,200
照明設備	708,779	221,610	487,169
什器備品			
液晶テレビ(山研)	121,800	121,799	1
給湯設備(山研)	413,532	339,542	73,990
石油ストーブ(山研)	125,000	31,312	93,688
電気冷蔵庫(山研)	295,610	90,505	205,105
エアコン	1,436,293	821,623	614,670
ノートPC	135,080	11,256	123,824
機械装置			
ミニ水力発電装置(山研)	3,816,750	3,664,081	152,669
水道施設利用権			
上高地山岳研究所	1,600,000	795,066	804,934

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
山岳レインジャー事業	山梨県	0	88,500	88,500	0	—
高山植物盗掘パトロール	北海道	0	351,636	351,636	0	—
猿投の森づくり	国土緑化推進機構	0	350,000	350,000	0	—
弥彦・国上エリアの持続可能な 利用促進プロジェクト	新潟県三条地域 振興局	0	50,000	50,000	0	—
合計		0	840,136	840,136	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息計上による振替額	429
特定資産受取利息計上による振替額	506
受取寄附金計上による振替額	1,495,550
合計	1,496,485

7. 資産除去債務関係

上高地山岳研究所に係る土地の借地契約に伴う原状回復義務を資産除去債務として認識しているが、使用期間が明確でなく、現在のところ施設の撤去並びに退去も予定していないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができないため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

附属明細書(案)

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,369,698	380,045	0	0	7,749,743

退職給付引当金の計上基準は、財務諸表に対する注記 1. 重要な会計方針の(3)に記載している。

財 産 目 録 (案)

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	本部手元保管	運転資金として	68,400	
		越後支部保管	運転資金として	270,926	
	預金	振替貯金			
		ゆうちょ銀行 00130	運転資金として	5,381,794	
		ゆうちょ銀行 00180	運転資金として(寄附受入口座)	15,695,906	
		ゆうちょ銀行 00150	運転資金として(会員証発行口座)	281,044	
		ゆうちょ銀行 00150	日本山岳会120周年記念事業募金口座	9,560	
		普通預金			
		りそな銀行市ヶ谷支店	運転資金として	996,471	
		三菱UFJ銀行市ヶ谷支店	〃	2,803,991	
		三井住友信託銀行芝営業部	〃	389,692	
		みずほ銀行市ヶ谷支店	〃	477,827	
		三井住友銀行飯田橋支店	〃	293,303	
		三菱UFJ銀行新宿支店	〃	167,834	
		三菱UFJ銀行市ヶ谷支店	運転資金として(保険用口座)	190,884	
もみじ銀行広島駅前支店	広島支部 遭難対策資金として	1,977,562			
通常貯金					
ゆうちょ銀行 10070	運転資金として	47,158			
定期預金					
三菱UFJ銀行新宿支店	運転資金として	4,800,000			
みずほ銀行市ヶ谷支店	〃	4,289,000			
三井住友銀行飯田橋支店	〃	6,301,757			
未収会費	令和3年度以前の未収会費	会費請求に対する未収分	2,976,000		
貯蔵品	服飾品など	会員へ頒布	539,990		
前払金(前払費用)	年払ソフトウェアの使用料、サポート料の未経過分	本部使用パソコン	141,898		
仮払金	令和3年度支部繰越予算ほか	本部助成金及び特別助成金繰越額等	3,713,902		
流動資産合計				51,814,899	
(固定資産)					
基本財産	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理業務に使用している。	8,000,000	
特定資産	秩父宮記念基金	定期預金	公益目的保有財産であり、秩父宮家等から寄贈され、長期間保有することにより、その運用益を秩父宮記念山岳賞の顕彰賞金を支給するための基金である。	15,200,000	
		三菱UFJ銀行新宿支店			
	海外登山基金	定期預金	特定費用準備金であり、日本山岳会または外部団体の海外登山の助成金及び120周年記念事業を対象とする助成金支出に充てるため保有する基金である。	14,289,792	
		りそな銀行市ヶ谷支店			
	遭難防止事業基金	定期預金	会員から寄附された遭難防止事業への助成金及び会員等の遭難対策費用に充てるための基金である。	10,000,000	
		みずほ銀行市ヶ谷支店			
	長期計画準備金	定期預金	資産取得資金であり、公益目的事業・管理業務用資産の再取得または、修繕に充てるための基金である。	36,512,491	
		みずほ銀行市ヶ谷支店			
	退職給付引当資産	定期預金	職員への退職金支給に備えるための預金である。	7,749,743	
		りそな銀行市ヶ谷支店			
施設整備特定資産	振替貯金	登山振興事業、山岳研究調査事業及び共益事業と管理業務のために管理されている預金である。	1,784,452		
	ゆうちょ銀行 00180				
YOUTH CLUB活動特定資産	振替貯金	本部YOUTH CLUBにおける活動を助成するために保有されている預金である。	500,000		
	ゆうちょ銀行 00180				
くじゅう山遭難碑維持管理特定資産	普通預金	東九州支部におけるくじゅう山遭難碑の維持管理活動のために管理されている預金である。	317,937		
	大分銀行本店				
120周年記念事業特定資産	振替貯金	2025年までに予定されている120周年記念事業を遂行するための預金である。	3,090,000		
		ゆうちょ銀行 00150			

(次頁へ続く)

(前頁より)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	生物保護特定資産	振替貯金 ゆうちょ銀行 00180	山岳環境保全事業の中で特に森林生物保護を目的に受入れ管理する預金である。	300,000	
	森林保全特定資産	振替貯金 ゆうちょ銀行 00180	山岳環境保全事業の中で特に森林環境保護を目的に受入れ管理する預金である。	300,000	
	古道調査特定資産	振替貯金 ゆうちょ銀行 00180	登山振興事業の中で特に古道調査を目的に受入れ管理する預金である。	300,000	
	坂口三郎基金	定額貯金 ゆうちょ銀行 10740	栃木支部の支部活動(主に共益活動)の活発化を目的に受入れた基金である。	500,000	
その他固定資産	土地	97.724264㎡ 東京都千代田区四番町5番4	事務室以外は公益目的保有財産であり、登山振興事業、山岳研究調査事業の施設として利用しており、事務室は共益事業および管理業務の施設として使用している。	86,737,705	
		13.805312㎡ 広島県広島市南区大須賀町142番地1	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として使用している。	3,443,246	
		15,416㎡ 愛知県瀬戸市上山路町102番,103番	公益目的保有財産であり、山岳環境保護事業の山林として使用している。	365,168	
		2,823㎡ 静岡県静岡市葵区牛妻字中平2480番1	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として使用している。	1	
	建物	266.73㎡ 東京都千代田区四番町5番4	事務室以外は公益目的保有財産であり、登山振興事業、山岳研究調査事業の施設として利用しており、事務室は共益事業および管理業務の施設として使用している。	12,688,528	
		274.09㎡ 長野県松本市安曇4469番地1	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設に使用している。	21,884,753	
		62.35㎡ 広島県広島市南区大須賀町142番地1	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として使用している。	1,869,014	
		66.00㎡ 静岡県静岡市葵区牛妻字中平2480番1	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として使用している。	1	
	建物附属設備	本部照明設備 東京都千代田区四番町5番4	事務室以外は公益目的保有財産であり、登山振興事業、山岳研究調査事業の施設として利用しており、事務室は共益事業および管理業務の施設として使用している。	487,169	
		広島県広島市南区大須賀町142番地1	公益目的保有財産であり、登山振興事業の施設として使用している。	1	
		山岳研究所給排水設備	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設として使用している。	2,926,368	
		山岳研究所受水槽	〃	1,207,517	
		山岳研究所の屋根・外壁塗装	〃	907,200	
		山岳研究所テラス	〃	316,800	
		山岳研究所自動火災報知器	〃	331,200	
		什器備品	本部 液晶テレビ, エアコン, 給湯設備	公益目的事業、共益事業及び管理業務の用に使用している	738,494
			山岳研究所 テレビ、冷蔵庫等	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業の施設として使用している。	372,784
		機械装置	ミニ水力発電装置 長野県松本市安曇4469番地1	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業に使用している。	152,669
	水道施設利用権	山岳研究所の水道組合加入権	公益目的保有財産であり、山岳研究調査事業に使用している。	804,934	
	固定資産合計				234,077,967
資産合計				285,892,866	
(流動負債)					
	未払金	取引業者の未払金	会報印刷費、発送費などの未払金。	1,045,625	
	前受金	会員からの前受金	令和4年度会費前受分。	180,000	
	預り金	前受終身会費他	終身会費、源泉所得税などの預り金。	2,228,048	
流動負債合計				3,453,673	
(固定負債)					
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの。	7,749,743	
固定負債合計				7,749,743	
負債合計				11,203,416	
正味財産				274,689,450	